

# 景文科技大学 教師評価「教学類」優秀・傑出教師の評価選定 実施要点

(教 065)

2010年4月13日 2009学年度第16回行政会議通過  
2010年6月22日 2009学年度第2学期第3回教師評価審査委員会会議通過  
2010年12月28日 2010学年度第10回行政会議修正通過  
2011年01月14日 2010学年度第1学期第4回教師評価審査委員会会議修正通過  
2016年10月25日 2016学年度第1学期第2回教師評価審査委員会通過

- 一、教学において優れた業績をあげた専任教師を奨励するため、本校の「教師評価方法」及び「教師の教学類通過業績評価実施要点」に基づき、「教師評価「教学類」優秀・傑出教師の評価選定実施要点」（以下、本要点）を特別に制定する。
- 二、本要点の奨励対象が具備すべき資格は次のとおりとする。
  - (一) 本校の教員評価「教学類」に合格した専任教師。
  - (二) 本校の教師評価教学、研究、指導・サービスの3部門の評価成績がいずれも合格基準を満たしている。
  - (三) 各院は、各院の特色に基づき、教学類の優秀・傑出教師の初選出基準に参加する。
  - (四) 奨励範囲を拡大するため、教学類の優秀および傑出教師の前年度の受賞者はリストから除外する。
- 三、本要点で評価・選定される教師は、各院から推薦され、年次教員評価成績公告日から30日以内に提出されるものとする。また、下記の審査用参考資料を準備するものとする：
  - (一) 中間・期末試験（レポート）、平時の宿題や小テストの資料。
  - (二) 教学サポートの成果報告。
  - (三) 教材制作。
  - (四) 学生の全国校外コンテスト参加を指導し、証書を取得し、その成績が優秀である場合。
  - (五) 革新的な教学。
  - (六) その他の教学成果（教学シラバス、教材編纂、過去2年間の学生の卓越した成績および教学関連者、その他関連資料を含む）。
- 四、「教学類」優秀・傑出評価の要点は、上述の教師提出の審査資料及び過去2年間の教学学生意識調査、校内外の教学向上や実績の成果、同学科の他の教師、卒業生、学生のコメントや意見が含まれる。
- 五、評価選定チーム委員の資格は、本要点の評価選出に参加したことがない学校教師、または一級行政主管を2年以上務めた外部代表とする。
- 六、評価選定チームは、教務処が推薦した10名の委員で構成され、校長が推薦リストの中から最低5名（学内2名、学外3名）を選出して今年度の評価選定チームを組織する。また、評価選定チーム委員は相互に主席1名を選出する。また、別途秘書を1名置き、教務処が指定し、資料の受領とまとめ、および関連行政作業を担当する。
- 七、評価選定は、以下のように第一審査と最終審査に分かれる：
  - (一) 第一審査：評価選定チームは、審査、採点、ランク付けを行い、優良および傑出教師を選出し、そのリストを審査のため校内教育評価会に提出する。
  - (二) 最終審査：校内教育評価会が入賞者リストを最終審査する。

八、奨励対象者枠：

教学類の優良教師の奨励枠は最高10名とし、優良教師の中から最高3名の傑出教師を選出する。

九、奨励方法：

(一) 本校の「教師評価法」に基づいて奨励を行う。

(二) 傑出教師賞を受賞した教師は、その成果を示し、教師専門討論会やその他セミナーで経験を共有し、本校の教師が学習できるよう提供する。

十、本要点の奨励経費は、学校によって計画され組み込まれる。

十一、本要点は、行政会議及び校教評価回の審議を経て、校長の承認を経た後、公布し実施する。